

「尾瀬の生態系サービスの定量評価」 に基づく経済価値の評価例

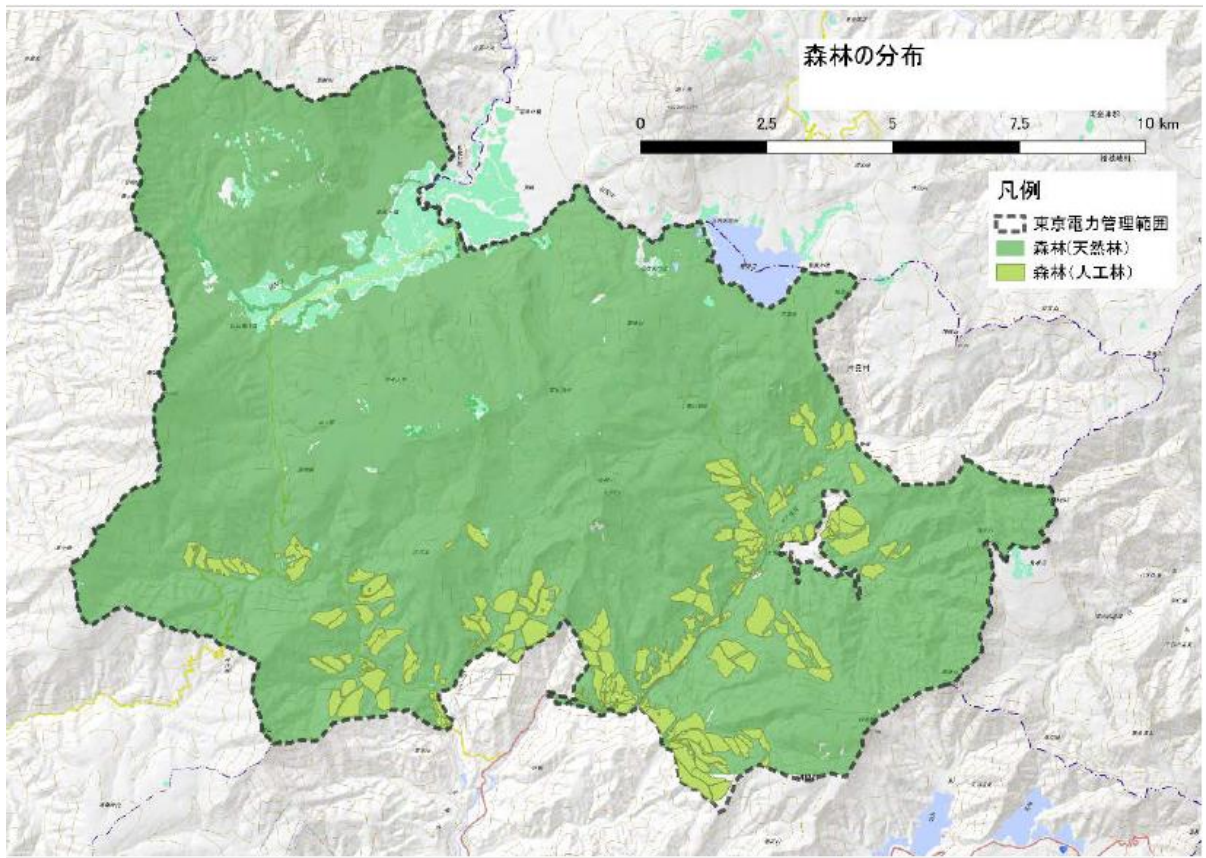
1. 炭素固定量

1～1.5億円/年 相当 (森林吸収Jクレジット2017年取引価格) に基づく経済評価の評価例

1) 炭素固定量
CO₂換算値で年間1万トンの固定をしていると
評価されている。

	固定量 (t/年)
年間炭素吸収量 (C-t)	2,804
年間炭素吸収量 (CO ₂ -t)	10,291

2) 経済的評価
①森林吸収Jクレジットにおける取引価格の平均値
(平成28年)
10,000～15,000円/t-CO₂
②森林の炭素吸収量の経済評価
① × 10,291t ≒ 1.02～1.54億円/年



2. 土壌流出の防止機能

159億円/年 相当 (砂防ダム建設コスト「5,780円/m³」より試算)

1) 森林や湿原による土壌流出防止効果

現在の土壌流出は年間2万トン弱と見積もられるが、森林が裸地だった場合には277万トンもの土砂が流出すると見積もられ、その効果が大きいことが分かる。こうした土砂流出防止の効果は、地形が急峻で土砂流出が起きやすい地形ほど顕著で、対象範囲内の山間部で高い効果を示している。

	現在の植生	植生がない場合	差分 (=植生の効果)
土壌流出量 (t/年)	19,220	2,765,528	2,746,308

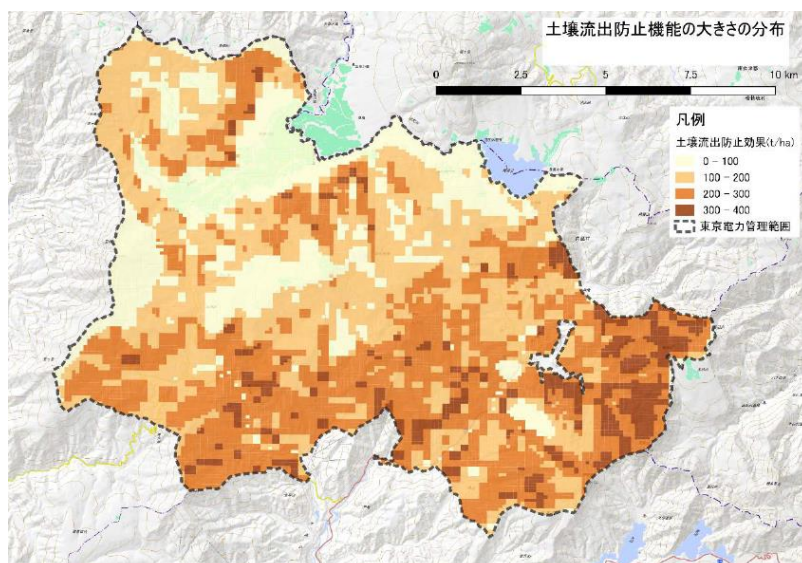
2) 経済的評価

①土砂1m³あたりの砂防ダム建設コストを用いる (林野庁資料)

5,780円/m³

②植生による土壌流出防止量の経済評価

①×2,746,308t≒158.7億円/年



3. 観光地としての経済効果

98億円/年 相当 (2015年入山者数実績「326,100人」に基づき試算)

1) 2015年度の入山者数は、326,100人であった。
また、来訪者一人あたり、平均30,000円の
旅費・交通費を支払っているものと想定した。

2) 経済的評価

①尾瀬の入山者数

326,100人

②経済評価

①×30,000円≒を97億8,300万円

項目	単価(円)
東京～上毛高原 (往復：新幹線)	11,500
上毛高原～戸倉 (往復：バス)	6,000
戸倉～鳩待峠 (往復：バス)	2,000
宿泊費	8,500
(合計)	30,000